

# 御入学・御進級おめでとうございます ～「つくりだす子」の育成を重点として～

副校長 齊 藤 誠

暖かな日差しが草木の芽吹きを促し、新しい命の輝きを感じる季節となりました。

この、春の訪れを感じる喜ばしい日、附属旭川小学校の新1年生保護者の皆様、御入学おめでとうございます。在校生保護者の皆様、御進級おめでとうございます。

新1年生が入学し、転入生をお迎えして、いよいよ令和4年度の附属小学校が始まりました。附小っ子一人一人が、「こんな自分になりたい」という成長目標をもって、新学年をスタートしてほしいと願っています。

さて、本校の教育目標は、「主体的人間の形成」です。この目標を実現するための具体目標は、「思いやる子・つくりだす子・やりとげる子」です。令和4年度は、これらの具体目標の中から、特に「つくりだす子」を重点と定めて教育活動を進めてまいります。「つくりだす子」は、児童の姿で表すと、「めあてをもって意欲的に追求するとともに、創意工夫を凝らして新しいものを進んでつくりだす子」となります。

「必要は発明の母」と言われますが、本校では新型コロナウイルスの感染拡大と同時期に教育のICT化を推し進める中で、遠隔授業や授業配信、行事の映像配信などの質を向上させることができました。また、友達との討論や長時間の意見交流、他学級や異学年との交流活動を実施できない中、低学年ではiPad、中高学年ではChromebookを活用することで、これまで以上に効率的な意見交換や異学年交流をすることもできるようになりました。

今年度も、新型コロナウイルスが変異しながら感染の拡大と収束を繰り返す可能性があります。教員と児童が共に工夫しながら情報端末、デジタル教科書、ノートと鉛筆を使い分け、どんな環境でもたくましく学び続けることができる「GIGAの時代の附小っ子の学び」をつくりあげていきます。

かつては、保護者の皆様と教員が参観日以外にもお子様のことを話題に談話し、目指す教育について相互理解を深めながら教育活動を進めてきました。ここ数年は、保護者と教員が画面を介してお話しさせていただく機会が増えました。そうした中でも、お子様のことについて笑いながら言葉を交わしている様子を見ると、力を合わせて工夫することで、数年後には、「コロナ禍があったから子供が成長できましたね」と振り返ることができることを期待できます。

お子様のよりよい成長のため、教員一同力を尽くしてまいります。保護者の皆様の御協力・連携をよろしくお願いいたします。



4月末のプレーグラウンド